

日本医用画像工学会 2013年度総会 議事録

会 期：2013年8月2日（金） 13：30～14：30

会 場：日本科学未来館 7F みらいCANホール（A会場）

出席者：出席76名 委任状32名

議 事：1. 縄野会長より開会のご挨拶があった。

2. 出席76名、委任状32名の合計108名で総会が成立することが確認された。

3. 恒例により異議なく縄野会長に議長が一任される事が確認された。

4. 審議事項（添付の議事録資料参照）

（1）2012年度事業報告および2013年度事業計画

1) 「大会関係」について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

2) 「学術・渉外」について羽石担当常任幹事より報告され、承認された。

3) 編集委員会について工藤委員長より報告され、承認された。

4) 広報委員会について安藤委員長より報告され、承認された。

5) CAD委員会について長谷川委員長より報告され、承認された。

6) ハンドブック編集委員会について尾川編集委員長より報告され、承認された。

7) 「研究会の設置」について本間担当常任幹事より報告され、承認された。

8) 教育委員会に佐藤教育委員長より報告され、承認された。

（2）2012年度決算報告

1) 2012年度決算報告について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

2) 2012年度決算報告会計監査報告について石垣監事より報告され、承認された。

（3）2013年度予算案について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

（4）規約等の改訂について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

（5）役員人事について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

5. 第31回大会「大会奨励賞」の受賞者が紹介された。また、2012年度MIT誌「論文賞」の受賞者が紹介され、授賞式が行われた。

6. 第32回大会の福田大会長（東京慈恵会医科大学）よりご挨拶があった。

7. 縄野会長より閉会のご挨拶があった。

以上

事業報告および事業計画:大会関係

・ 2012年度報告

第31回大会を、森雅樹大会長(札幌厚生病院)のもとに、札幌厚生病院にて開催した。
(2012年8月4日・5日/参加者数174名・演題数85演題)

・ 2013年度計画

第32回大会を、本間一弘大会長(産業技術総合研究所)のもとに、産総研臨海副都心センター/日本科学未来館にて開催する。(2013年8月1日~3日)

事業報告および事業計画:学術・渉外 連合フォーラム活動等

2012年度活動報告

JAMIT Frontier2013(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MII, 日本写真学会共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)を那覇市で開催した。

期日:2013年1月24日(木)・25日(金)

場所:那覇市ぶんかテンプス館

演題数 63

(特別招待講演 4, 一般演題 58(口演 25, ポスター 33), MICCAI報告 1件)

2013年度活動計画

JAMIT Frontier2014(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MII, 日本写真学会共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)を那覇市で開催する。

期日:2014年1月26日(日), 27日(月)

場所:那覇市ぶんかテンプス館

なお、2014年度の事業として以下を計画している。

International Forum on Medical Imaging in Asia(IFMIA) 2015

期日:2015年1月13日(金), 14日(土) (1月13日はIWAITとの共同セッション)

場所:台湾成功大学(台南)

編集委員会2012年度活動報告

1/3

(1)雑誌の発行

Vol.30, No.4 『JAMIT2012大会査読付き論文+一般』

Vol.30, No.5 『特集:医用画像に取り組む診療放射線技師たち+一般』

Vol.31, No.1 『特集:医用イメージングにおける画像再構成の基礎と現状+一般』

Vol.31, No.2 『システム開発論文特集+一般』

Vol.31, No.3 『特集:医用画像でのGPUの応用+一般』

(2)原著論文投稿・掲載状況 (Vol.30, No.4~Vol.31, No.3)

投稿数 (2011年45件 -> 2012年40件)

掲載数 (2011年13件 -> 2012年24件)

(3)編集部の移行

2011年から編集部移行を進めていたが、2013年5月に新しい委託業者の『学術新報社』と正式契約を行い移行は全て完了した。

(4)その他

『講座: MRI技術の最近のトレンド』企画, 論文賞選考, 英文誌発行の検討(現在は発行せず2年後に再検討)



2012年度論文賞

2/3

『多重解像度解析およびモルフォロジカルフィルタを用いた医用超音波画像の高画質化技術』

(Vol.30, No.2, pp.103-108, 2012)

中平 健治, 宮本 敦(日立製作所横浜研究所)

概要: 医用超音波画像を対象としたノイズ除去・エッジ鮮鋭化アルゴリズムを提案する。超音波画像では、画像全体の自然さを維持した上でのスペckルノイズの抑制と組織境界(エッジ)の鮮鋭さが求められている。スペckルノイズは撮像条件や撮像部位によって異なった空間周波数特性を持つため、画像の違いに対して一様に良好なノイズ除去を行うことが困難であった。この問題を解消するため、提案法では、画像から推定した空間周波数ごとのノイズ量を用いて、多重解像度解析によりノイズを抑制する。また、モルフォロジカルフィルタにより、不自然な模様を発生させることなくエッジの鮮鋭さを向上する。提案法を並列演算可能な専用プロセッサに組み込み、心臓などの動きの早い部位の観察に対応したリアルタイム表示(60フレーム/秒)を可能とした。

編集委員会2013年度活動予定

3/3

(1)雑誌の発行

- Vol.31, No.4 『JAMIT2013大会査読付き論文+一般』
- Vol.31, No.5 『特集: 計算解剖学(第2回目)+一般』
- Vol.32, No.1 『特集: 商用医用画像診断支援システム+一般』
- Vol.32, No.2 『特集: エラストグラフィ最前線+システム開発論文特集』
- Vol.32, No.3 『特集: 統計的画像処理の研究動向+一般』

(2)雑誌改善の検討

原著論文数を増やす方策, 査読仕組み改善, 雑誌の評価を高める方策 (PubMedへのアブストラクト掲載など), 非会員への無料公開

論文投稿のお誘い

数年前と比較して原著論文投稿数は少しずつ増加してきているが, まだ十分とは言えない。皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします。

第3回『医用画像システム開発論文』特集号論文募集
投稿締切: 2013年10月31日(木), 掲載号: Vol.32, No.2(2014年3月)

活動報告および活動計画: 広報委員会 1/5

2012年度事業報告

- ・メールマガジンの発行
(2012.7~2013.6 62通)
- ・ホームページの整備 (<http://www.jamit.jp>)
- ・eNews Letter

| | | |
|-------|----------|---------|
| No.12 | 2012年07月 | 通算No.66 |
| No.13 | 2012年12月 | 通算No.67 |
| No.14 | 2013年04月 | 通算No.68 |

活動報告および活動計画: 広報委員会 2/5

・ eNews Letter No.12 2012年07月 通算No.66

特集

私の放射線計測研究の事始め—福島原発事故の1周年に当って 飯沼 武

JAMIIT のあゆみ

JAMIT への関わり, そしてJAMIT の2004 年からの歩み 赤塚 孝雄

技術交流の輪① イメージング

最先端研究開発が切り拓く新しいPET イメージング 山谷 泰賀

技術交流の輪② 統計モデル

臓器位置合わせのための統計形状モデルについて 本谷 秀堅

JAMIIT のひろば

大腸疾患における早期発見・早期治療に向けて 山口 理絵

~CT 撮影から画像診断まで~

CAD コンテストの案内

医用画像データベース 北坂 孝幸

清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 3/5

・ eNews Letter No.13 2012年12月 通算No.67

特集

第31 回日本医用画像工学会大会後記

森 雅樹

第4 回JAMIT CAD コンテスト結果報告

北坂 孝幸

「新就任ご挨拶」

君は読影室へ行ったか?

縄野 繁

日本医用画像工学会への期待

石垣 武男

JAMIT に期待すること

掛川 誠

今後のJAMIT に必要なもの

平野 靖

JAMIT への期待—幹事の一人として—

山本 裕

JAMIT に期待すること

湯浅 哲也

JAMIIT のひろば

PET の最新画像処理

水田 哲郎

医用画像データベース

清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 4/5

・ eNews Letter No.14 2013年04月 通算No.68

特集

第32回日本医用画像工学会大会の開催に際して
JAMIT FRONTIER 後記

本間 一弘
北坂 孝幸

○医用画像工学への期待と希望

日本医用画像工学会への期待と希望
医用画像工学の目指すもの
JAMIT に期待すること
ノートPC と開発環境を携えて臨床の場へ
日本医用画像工学会への期待と希望

藤田 広志
増谷 佳孝
目加田 慶人
森 健策
森 雅樹

お知らせ

医用画像データベース

清水 昭伸

活動報告および活動計画: 広報委員会 5/5

◆ 2013年度事業計画

- ・ メールマガジンの発行
- ・ ホームページの整備

新サーバへの移行 入会案内

- ・ eNews Letterの発行

- ◆ No.15 2013年07月 通算No.69
- ◆ No.16 2013年12月 通算No.70
- ◆ No.17 2014年04月 通算No.71

活動報告および活動計画: CAD委員会 1/2

◆ 2012年度活動報告

- ・ 第4回CADコンテストの開催

日程: 2012年8月3日(金), 4日(土)

場所: JA北海道厚生連 札幌厚生病院(札幌市)

※第31回大会々場

課題: 3次元腹部CT像からの肝血管腫の抽出(昨年度と同じ)

結果: 1位: 名大, 2位: パナソニック, 3位: 名工大

- ・ CAD勉強会の開催

第12回 2012年5月19日(土) @名大(準備状況の報告)

- ・ 画像データベースの発行

腹部CT像データベース Vol.3

- ・ 40画像(20症例×2時相(単純, 門脈)), 肝転移診断用
- ・ DVD3枚組, 説明書付, 肝臓領域手塗りデータ付(参考情報)
- ・ 価格: 30,000円, コンテスト参加者 5,000円

活動報告および活動計画: CAD委員会 2/2

◆ 2013年度活動計画

- ・ 第5回CADコンテストの開催

日程: 2013年7月31日(水), 8月1日(木)

場所: 日本科学未来館・産業技術総合研究所臨海副都心センター
(東京都江東区) ※第32回大会々場

課題: 3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み

- ・ CAD勉強会の開催

第13回 2013年5月18日(土) @名大(準備状況の報告)

第14回 2013年10月頃を予定

第15回 2014年3月頃を予定

- ・ 画像データベースの発行と販売

腹部CT像を中心にしたデータベース(Vol.4以降)の発行

- ・ 他の学会・研究会との共催事業

活動計画:事業関係 1/3

医用画像工学ハンドブックの発刊

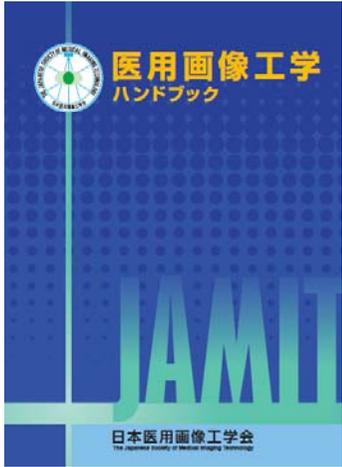
発刊:2012年9月15日
発行:日本医用画像工学会
冊子:B5版 800頁 15000円
(会員価格12000円)

二部構成 ①イメージング編、②CAD編

申込方法
① (株)国際文献社定期購読事業部宛にメールする
E-mail:pub-post@bunken.co.jp

② 記載事項:申込氏名(フリガナ)/会員の場合は会員番号/所属先名(部署、研究室名)/購入部数/金額/請求書宛名/送付先住所(請求書送付先と異なる場合は明記)/TEL / FAX / E-mail

③ 支払方法:申込後に本と請求書が送付される
請求書記載の指定の銀行口座または郵便口座に振込み(代金引換も対応可)。



活動計画:事業関係 1/3

<編集委員会>
委員長 尾川 浩一(法政大学理工学部)
副委員長 工藤 博幸(筑波大学システム情報系情報工学域)
清水 昭伸(東京農工大学大学院工学研究院)

委員 佐藤 嘉伸(大阪大学大学院医学系研究科)
増谷 佳孝(東京大学医学部附属病院放射線科・大学院医学系研究科)
森 健策(名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室)
湯浅 哲也(山形大学大学院理工学研究科)
本谷 秀聖(名古屋工業大学大学院情報工学専攻)

執筆者 50名

宣伝活動 学会等でのチラシの配布
インターネットを利用した宣伝
業界誌での広告(インナービジョン、映像情報メディカル)

活動計画:事業関係 1/3

| | |
|--|---|
| <p>【Part I 映像化技術】</p> <p>第1章 基礎理論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信号・画像処理の基礎 2. 投影からの画像再構成 3. 波動の基礎物理 4. X線イメージング 5. ガンマ線イメージング 6. 画質評価 7. 放射線防護 <p>第2章 映像化装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. X線撮影装置 2. X線CT装置 3. MRI装置 4. 核医学装置 5. 超音波診断装置 6. 可視光・放射光装置 | <p>【Part II 画像処理と解析】</p> <p>第1章 基礎理論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平滑化と強調 2. 画像解析 3. パターン識別 4. 画像表示 5. 画像の記録・伝達 6. カラー画像処理 <p>第2章 画像処理技術の応用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. X線画像 2. X線CT画像 3. MRI画像 4. PET・SPECT画像 5. 超音波画像 6. 可視光画像, 赤外光画像 7. PACS 8. 遠隔診断 9. 手術・治療支援 <p>カラーページ 索引</p> |
|--|---|

活動計画:事業関係 2/3

研究会の設置 1/3

医用画像工学に関連する学術や医療機器産業の発展、開発技術の迅速な臨床利用などに資する研究会を設置できるものとする。

- 設置の条件
異なる機関に所属する正会員5名以上をもって構成する。
- 設置の公募
原則、毎年4月1日から6月30日とする。(学会ホームページや学会誌にて公募)
緊急を要する案件等は、適宜、受け付ける。
- 設置期間
研究会の設置期間は原則3年を限度とする。(総会の翌日から翌年の総会までを1年)
- 予算
学会から年間で原則10万円を支給する。提案に際しては、申請書を提出する。
- 審査
常任幹事会で審査し、決定する。
- 成果の報告
本学会大会における発表、本学会誌への論文投稿や技術報告などを義務とする。

研究会の設置 2/3

医療ITイノベーション推進研究会

設置期間:平成23年度～平成24年度(2年間)
(平成23年総会の翌日～平成25年総会の開催日)

研究会会長:
森山紀之(国立がんセンターがん予防・健診センター)

実施内容:
医療 IT分野での革新を図るため、以下の検討を行う。
1)医療ITのあるべき姿・臨床応用のスコープの明確化
2)技術・社会イノベーションへ結び付ける方策
3)国が取り組むべき施策や大型プロジェクトの提案

研究会の設置 3/3

オープンディクショナリ研究会

設置期間:平成23年度～平成27年度(3年間)
(平成25年総会の翌日～平成28年総会の開催日)

研究会会長:
平野靖(山口大学)

実施内容:
医用画像工学分野における基礎知識の共有を
目的とした用語集の作成

活動計画:事業関係 3/3
教育委員会

第2回JAMITチュートリアル講演会

会 期:2012年8月3日(金/JAMIT大会前日) 14:30～16:40
会 場:札幌厚生病院(JAMIT大会会場)
- プログラム -

テーマ:医用イメージング技術の基礎と最新動向—イメージング物理と超解像数理—
1)「(CAD研究者もよくわかる)イメージング物理の基礎と最新動向
— 光・超音波・X線・MR・核医学 —」 湯浅哲也 先生(山形大学)
2)「超解像イメージング数理の基礎と最新動向」 陳延偉 先生(立命館大学)

第3回JAMITチュートリアル講演会

会 期:2013年8月1日(木/JAMIT大会1日目) 13:00～15:00
会 場:産業技術総合研究所臨海センター(JAMIT大会会場)
- プログラム -

テーマ:CTイメージング技術・画像解析の基礎と最新動向
1)「CTイメージング技術」 森 一生先生(東北大学)
2)「CT画像解析」 清水 昭伸先生(東京農工大学)

H25-7-5

日本医用画像工学会
2012年度収支計算書(案)
2012年4月1日から2013年3月31日まで

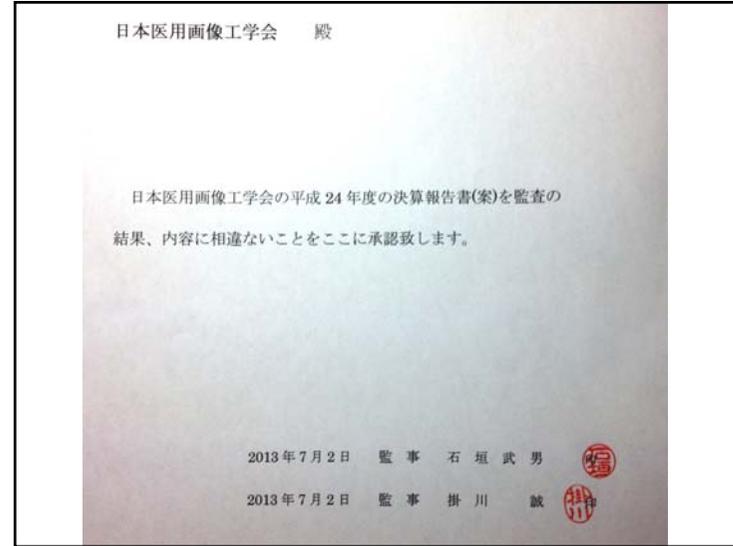
I. 収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|-----------|---------------------------------|
| 1. 正会員費 | 2,638,000 | 3,247,000 | 609,000 | @1,000x15 入会金 @8,000x404 年間費 |
| 2. 学生会員費 | 300,000 | 216,000 | △ 84,000 | @3,000x72 |
| 3. 賛助会員費 | 1,680,000 | 1,680,000 | 0 | @80,000x 21口 |
| 4. 回書会員費 | 300,000 | 280,000 | △ 20,000 | @10,000x4口 @20,000x 12口 |
| 5. 会誌広告料 | 0 | 0 | 0 | |
| 6. 会誌別刷代 | 1,500,000 | 1,664,810 | 164,810 | |
| 7. 大会事業収入 | 3,000,000 | 2,462,040 | △ 537,960 | |
| 8. CAD DB | 400,000 | 110,000 | △ 290,000 | |
| 9. ハンドブック販売収入 | 2,600,000 | 2,437,050 | △ 162,950 | |
| 10. 教育事業収入 | 100,000 | 398,100 | 298,100 | |
| 11. 雑収入 | 100,458 | 136,462 | 36,004 | |
| 当期収入合計 (A) | 12,618,458 | 12,631,462 | 13,004 | |
| 前年度繰越金 | 7,222,798 | 7,222,798 | | 定期預金含む |
| 収入合計 (B) | 19,841,256 | 19,854,260 | | |

II.支出の部 (単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差異 | 備 考 |
|------------------------------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 1. 会誌発行費 5回 30 巻3,4,5号,31 巻1,2号 | 4,300,000 | 4,135,519 | △ 164,481 | ニュースレター含む |
| 2. 大会事業費 1回 | 3,000,000 | 2,524,609 | △ 475,391 | |
| 3. 表彰費 | 130,000 | 239,820 | 109,820 | |
| 委員会費 | | | | |
| 4. CAD委員会関連費 | 100,000 | 18,300 | △ 81,700 | |
| 事業補助金 | | | | |
| 5. JAMIT FRONIER大会補助費 | 100,000 | 80,210 | △ 19,790 | |
| 6. 医療ITイノベーション推進研究事業費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 事業費 | | | | |
| 7. ハンドブック製作費 | 2,000,000 | 2,457,889 | 457,889 | |
| 8. ハンドブック販売費 | 0 | 762,200 | 762,200 | |
| 9. 教育事業費 | 400,000 | 474,190 | 74,190 | |
| 幹事会・常任幹事会・事務費 | | | | |
| 10. 会議費 | 100,000 | 95,028 | △ 4,972 | |
| 11. 旅費交通費 | 700,000 | 627,570 | △ 72,430 | |
| 12. 広報関係費 | 800,000 | 650,210 | △ 149,790 | |
| 13. 事務局費 | 960,000 | 756,210 | △ 203,790 | |
| 14. 備品・消耗品 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | |
| 15. 印刷費 | 50,000 | 88,515 | 38,515 | |
| 16. 通信費 | 80,000 | 106,585 | 26,585 | |
| 17. 雑費 | 100,000 | 1,340 | △ 98,660 | |
| 18. 予備費 | | | | |
| 当期支出合計 (C) | 12,950,000 | 13,118,195 | 168,195 | |
| 当期収支差額 (A-C) | △ 331,542 | △ 486,733 | △ 155,191 | |
| 次期繰越収支差額 (B-C) | 6,891,256 | 6,736,065 | △ 155,191 | |
| 支 出 合 計 | 19,841,256 | 19,854,260 | 13,004 | |



H25-7-5

日本医用画像工学会
2013年度 予算(案)
2013年4月1日から2014年3月31日まで

I. 収入の部 (単位:円)

| 科 目 | 13予算額 | 12予算額 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|-------------------------------|
| 1. 正会員費 | 3,215,000 | 2,638,000 | @1000x15 入会金 @8000x400 年間費 |
| 2. 学生会員費 | 300,000 | 300,000 | @3000x100 |
| 3. 賛助会員費 | 1,680,000 | 1,680,000 | @80,000x 21口 |
| 4. 図書会員費 | 300,000 | 300,000 | @10000x4口 @20000x13口 |
| 5. 会誌広告料 | 0 | 0 | |
| 6. 会誌別刷代 | 1,500,000 | 1,500,000 | |
| 7. 大会事業収入 | 3,110,000 | 3,000,000 | |
| 8. 教育事業収入 | 400,000 | 400,000 | 教育事業を強化 |
| 9. ハンドブック販売収入 | 2,400,000 | 2,600,000 | ハンドブック販売 200冊 |
| 10. 雑収入 | 100,000 | 100,000 | |
| 11. 雑益 | 0 | 100,458 | |
| 当期収入合計 (A) | 13,005,000 | 12,618,458 | |
| 前年度繰越金 | 6,736,065 | 7,222,798 | |
| 収 入 合 計 (B) | 19,741,065 | 19,841,256 | |

II.支出の部 (単位:円)

| 科 目 | 13予算額 | 12予算額 | 備 考 |
|------------------------------------|------------|------------|-------------|
| 1. 会誌発行費 5回 31 巻3,4,5号,32 巻1,2号 | 4,200,000 | 4,300,000 | ニュースレター含む |
| 2. 大会事業費 1回 | 3,110,000 | 3,000,000 | 大会事業収入支出は同じ |
| 3. 表彰費 | 130,000 | 130,000 | |
| 委員会費 | | | |
| 4. CAD委員会関連費 | 50,000 | 100,000 | |
| 事業補助金 | | | |
| 5. JAMIT FRONIER大会補助費 | 100,000 | 100,000 | |
| 6. 医療ITイノベーション推進研究事業費 | 100,000 | 100,000 | |
| 事業費 | | | |
| 7. ハンドブック販売費 | 600,000 | 2,000,000 | |
| 8. 教育事業費 | 400,000 | 400,000 | |
| 幹事会・常任幹事会・事務費 | | | |
| 9. 会議費 | 100,000 | 100,000 | |
| 10. 旅費交通費 | 700,000 | 700,000 | |
| 11. 広報関係費 | 1,150,000 | 800,000 | HP更改 |
| 12. 事務局費 | 960,000 | 960,000 | |
| 13. 備品・消耗品 | 30,000 | 30,000 | |
| 14. 印刷費 | 50,000 | 50,000 | |
| 15. 通信費 | 100,000 | 80,000 | |
| 16. 雑費 | 50,000 | 100,000 | |
| 当期支出合計 (C) | 11,830,000 | 12,950,000 | |
| 当期収支差額 (A-C) | 1,175,000 | △ 331,542 | |
| 次期繰越収支差額 (B-C) | 7,911,065 | 6,891,256 | |
| 支 出 合 計 | 19,741,065 | 19,841,256 | |

JAMIT規約変更について

■ 役員選任規定

- 趣旨
 役員のスムーズな交代、刷新の恒常化を図る。
 学会運営に欠かせない役員任期延長
- 内容
 新役員選任プロセスの明確化
 任期を超える役員再任プロセス

役員選任規定第3条(任期)

現行

役員任期は1期2年、選任された日から翌々年の総会までとする。
 各役員職における再任は1回、最長2期とする。
 特定業務の遂行上、常任幹事の任期継続が必要と認めた場合は、総会の承認を得て延長することができる。

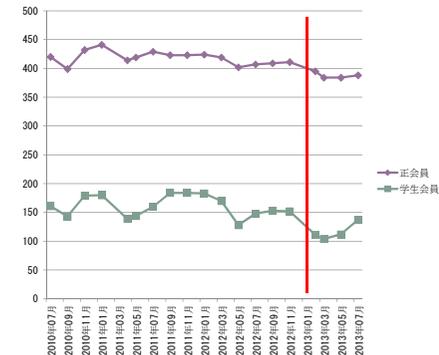
提案

会長、副会長、常任幹事、監事の任期は1期2年、選任された日から翌々年の総会までとする。
 会長、副会長、常任幹事、監事における再任は1回、最長2期4年とする。
 特定業務の遂行上、常任幹事の任期継続、再任が必要と認めた場合は、総会の承認を得て延長することができる。
 幹事の任期は最長2期4年とするが、常任幹事会が認めた場合には再任を妨げない。

役員選任規定第4条(選任)

- (1) 役員選任は公募を通して自薦乃至他薦により候補を決定する。
 - (1a) 会長候補の選任は、公募による候補から常任幹事による投票で決定する。
 - (1b) 副会長候補の選任は、会長候補の選任後、公募による候補から常任幹事による投票で決定する。
 - (1c) 常任幹事および幹事、監事候補の選任は、会長、副会長候補の選任後、公募による候補から会長、副会長および常任幹事による同意で決定する。
- (2) 役員改選を行う年の総会開催日の1ヶ月前までに、その時の会長、副会長を含む常任幹事会は第1条に述べる全ての次期役員候補案を作成する。
- (3) 常任幹事会は幹事会に次期の役員候補案を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て、次期の役員候補者を決定する。
- (4) 幹事会は総会に新会長候補を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て、新会長を選任する。
- (5) 新会長は総会に幹事会の同意を得た他の役員候補者を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て他の役員を選出する。

会費規程改訂後の会員数の推移



昨年秋より長期滞納者を中心に督促、14/1に会費前納依頼を全会員に発送した。
 改訂による収入への影響は軽微と考える。

2013年度 役員人事関係一覧 1/6

(2013年8月2日)

■ 退任

会長顧問：森山 紀之 (東京ミッドタウンクリニック)
 常任幹事：片山 昭弘 (キヤノン)
 周藤 安造 (麻布大学)
 田中 弘 (富士フィルム)
 幹事：赤塚 孝雄 (山形大学)
 北村 圭司 (島津製作所)
 小畑 秀文 (国立高等専門学校機構)
 清水 昭伸 (東京農工大学)
 滝澤 修 (シーメンス)
 田村 進一 (エヌビイエル)
 富樫 かおり (京都大学)
 山本 真司 (静岡大学)
 湯浅 哲也 (山形大学)
 吉村 仁 (コニカミノルタ)

2013年度 役員人事関係一覧 2/6

(2013年8月2日)

■ 新任

常任幹事：清水 昭伸 (東京農工大学)
 福田 国彦 (東京慈恵会医科大学)
 湯浅 哲也 (山形大学)
 幹事：伊藤 俊英 (シーメンス)
 今村 裕之 (キヤノン)
 岡田 和久 (京都大学)
 大松 広伸 (国立がんセンター東病院)
 小笠原 克彦 (北海道大学)
 加野 亜紀子 (コニカミノルタ)
 神谷 潔 (富士フィルム)
 黒木 嘉典 (栃木がんセンター)
 真田 茂 (金沢大学)
 滝沢 穂高 (筑波大学)
 篠川 毅 (島津製作所)
 陳 延偉 (立命館大学)
 中田 典生 (東京慈恵会医科大学)
 花岡 昇平 (東京大学)

2013年度 役員人事関係一覧 3/6 (2013年8月2日)

■ 任期満了後の再任

常任幹事：井桁 嘉一 (日立メディコ)
 工藤 博幸 (筑波大学)
 東木 裕介 (東芝メディカルシステムズ)
 幹事：稲邑 清也 (大阪大学)
 小尾 高史 (東京工業大学)
 大山 永昭 (東京工業大学)
 木戸 尚治 (山口大学)
 武田 徹 (北里大学)
 塚本 信宏 (済生会横浜市東部病院)
 仁木 登 (徳島大学)
 遠水 昭雄 (亀田総合病院)
 増谷 佳孝 (東京大学)
 目加田 慶人 (中京大学)
 森 健策 (名古屋大学)
 監事：掛川 誠 (浜松ホトニクス)

2013年度 役員人事関係一覧 4/6 (2013年8月2日)

■ 任期中

会長： 綱野 繁 (国際医療福祉大学)
 副会長：安藤 裕 (放医研 重粒子医学センター病院)
 尾川 浩一 (法政大学)
 長谷川 純一 (中京大学)
 常任幹事：佐藤 嘉伸 (大阪大学)
 羽石 秀昭 (千葉大学)
 細羽 爽 (京都医療科学大学)
 本間 弘 (産業技術総合研究所)
 幹事：勝俣 健一郎 (国際医療福祉大学)
 北坂 幸幸 (愛知工業大学)
 杉本 直三 (京都大学)
 原 武史 (岐阜大学)
 平野 靖 (山口大学)
 藤田 広志 (岐阜大学)
 森 雅樹 (札幌厚生病院)
 山本 裕 (横河医療ソリューションズ)
 山谷 泰寛 (放射線医学研究所)
 監事：石垣 武男 (名古屋大学)

2013年度 役員人事関係一覧 5/6 (2013年8月2日)

■ 名誉会員

- 赤塚 孝雄 (前会長、山形大学)
- 飯沼 武 (放射線医学総合研究所)
- 小畑 秀文 (元会長顧問、国立高等専門学校機構)
- 館野 之男 (放射線医学総合研究所)
- 森山 紀之 (会長顧問、東京ミッドタウンクリニック)

2013年度 役員人事関係一覧 6/6
(2013年8月2日)

■ 第33回JAMIT大会 (2014年)

大会長: 福田 国彦 (東京慈恵会医科大学)

■ JAMIT Frontier 2014

世話人: 羽石 秀昭 (千葉大学)

2012年度
MIT誌「論文賞」受賞者

論文名:

多重解像度解析およびモルフォロジカル
フィルタを用いた医用超音波画像の高画
質化技術

Vol.30, No.2

中平 健治, 宮本 敦(日立製作所横浜研究所)

第31回大会「大会奨励賞」受賞者

2012年9月メルマガおよびホームページで発表/10月賞状・副賞送付

| | 演題番号/発表者/所属/タイトル |
|----|---|
| 1 | OP7-10 渡辺 篤人 岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻知能イメージ情報分野 非造影CT画像からの類似画像検索による確率的アトラスの構築 |
| 2 | OP2-2 松崎 哲朗 名古屋大学大学院情報科学研究科 3次元腹部CT像から抽出された腹部静脈領域に対する血管名自動対応付け手法 |
| 3 | OP4-4 田島 英朗 放射線医学総合研究所 第二世代開放型PET「Single-Ring OpenPET」の機集とブロック検出器による裏射の検射 |
| 4 | OP6-5 寺本 篤司 藤田保健衛生大学医療科学部放射線学科 マイクロフォーカスX線管とフラットパネルディテクタを利用した高解像度乳房用CT装置の開発 |
| 5 | OP2-9 Essam A. Rasheq 筑波大学システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻 Compressed sensing model for low-dose multiphase abdominal CT |
| 6 | OP3-4 岩本 和成 名古屋工業大学 拡散MRIの撮像時間短縮のための雑音を考慮したMPG削減 |
| 7 | OP1-1 高瀬 郁子 名古屋大学医学部保健学科放射線技術科学専攻 脳血管CTAngiographyの画質評価 -Lorenz解析法の考案- |
| 8 | OP1-9 鈴木 拓 千葉大学工学部メディカルシステム工学科中口研究室 蛍光色素観察のためのボータブル重量投影システムの構築 |
| 9 | OP6-4 李 震光 千葉大学大学院工学研究科 複数色LEDと小型CCDカメラを用いた微小循環イメージング |
| 10 | OP7-5 二村 幸孝 名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室 気管支枝のスケール推定とグラフカットに基づく胸部CT像からの気管支抽出 |
| 11 | OP7-11 恒川 優人 名古屋工業大学 推定確度の自己推定を行う外れ値に頑健なクラスターベースDPMの非剛体位置合わせ |

次回の大会のお知らせ

第33回日本医用画像工学会大会
(JAMIT2014)

大会長: 福田 国彦(東京慈恵会医科大学)

(予定)

会期: 2014年7月24(木)~26日(土)

会場: 東京慈恵会医科大学 1号館
(東京都港区西新橋3-25-8)